

Anti-Abuse Mail Service

ファイルを添付するだけで実現する 脱PPAP ～NON-PPAP～

株式会社ブロードバンドセキュリティが提供する、セキュアで便利なメール添付ファイル管理サービスをご紹介します。

2025年10月29日

株式会社ブロードバンドセキュリティ



PPAPの問題点

PPAP（パスワード付きZIP暗号化ファイルを送り、パスワードを送る、暗号化プロトコル）は、セキュリティリスクや業務効率の低下を招くため、現在では推奨されていません。政府も廃止を推進しており、代替手段への移行が求められています。

セキュリティの形骸化

同じ通信経路でファイルとパスワードを送ることで、第三者に容易に盗み見されるリスクがあります。実際のセキュリティ強度が低いにもかかわらず、「安全対策をしている」と誤認されがちです。

メールフィルタでブロック

大手企業や官公庁では、パスワード付きZIPファイルの受信を拒否するポリシーが増加。重要な資料が届かない、または確認に時間がかかるといった業務影響が発生します。

管理・運用の負担

毎回パスワードを設定・通知する作業が発生し、送信者・受信者ともに手間がかかります。パスワードの間違いや紛失による再送依頼など、非効率な対応が必要になります。

対策の方針決定が困難

「PPAPをやめたいが、社内の文化や顧客の慣習が残っている」ため、なかなか切り替えが進まないケースが多く見られます。代替手段の選択に悩む企業が増えています。

監査・ログ管理が困難

パスワード付きZIPファイルはウイルス対策ソフトによる中身のスキャンが困難です。そのため、内部統制や情報漏洩の監査対応において不利になる可能性があります。

政府・大手企業の脱PPAP宣言



2020年11月

内閣府がPPAP廃止を公式表明し、政府全体での取り組みを開始しました。

現在

クラウドストレージやファイル転送サービスの活用が急増し、新たな標準として定着しつつあります。

1

2

2021年以降

大手企業・団体が続々と脱PPAPを表明しています。

3

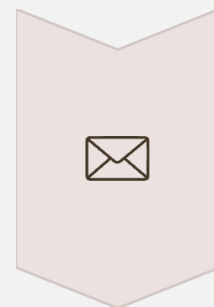
昨今の動向

なぜ今、このサービスが必要か

- 金融庁の方針を受け、多くの企業様からPPAP対策の要望をいただいております。
- クラウドストレージなど様々な代替手段が検討・導入されていますが、最適な選択が難しい状況です。
- そこで、*** **セキュアで安心** ***、かつ*** **ユーザビリティに優れたサービス** *** が強く求められています。

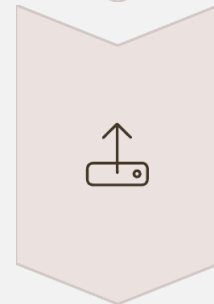


AAMS-NONPPAPの基本イメージ



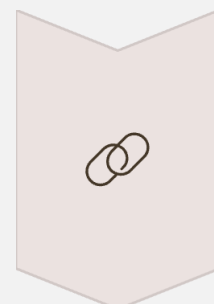
ステップ1：添付ファイル付メール送信

ファイルが添付されたメールを送信します。



ステップ2：添付ファイルをWebサーバにアップロード

自動でファイルがアップロードされます。



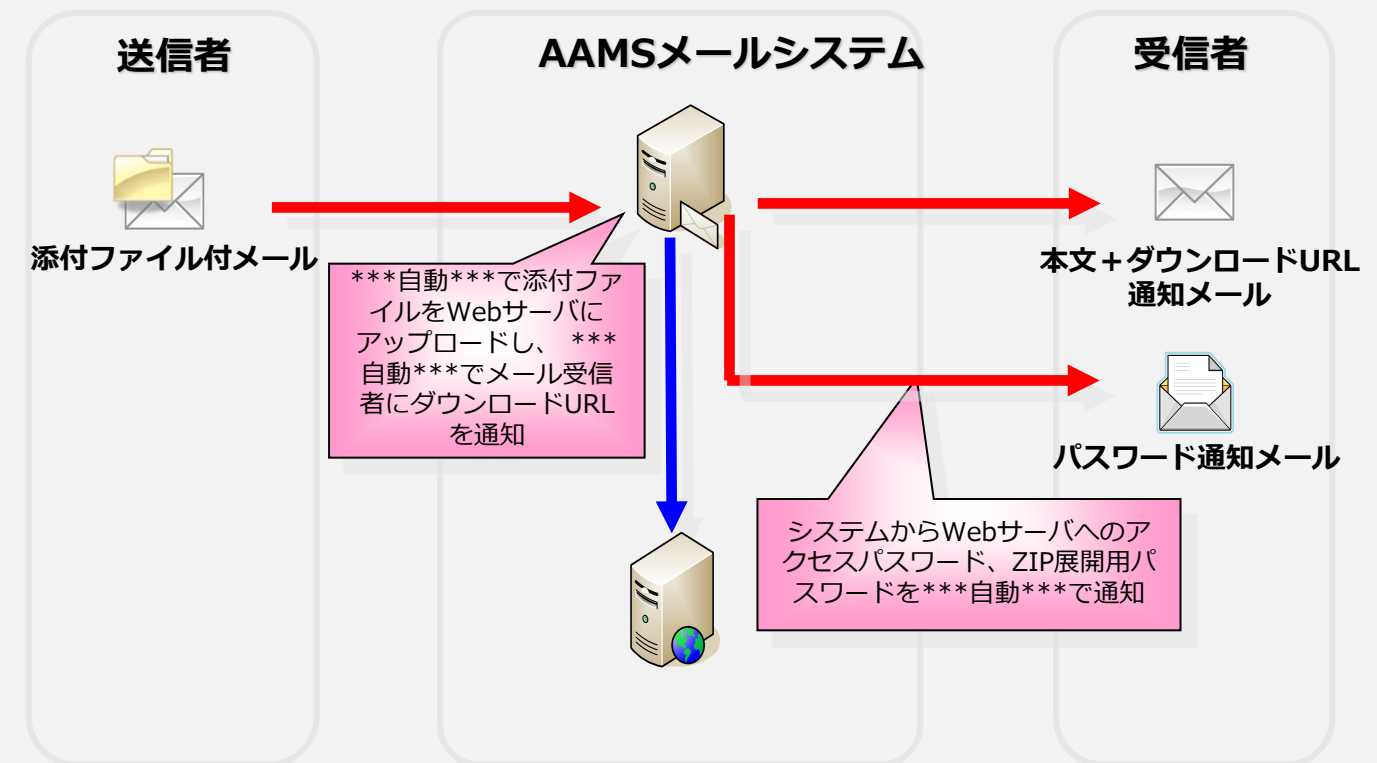
ステップ3：URLとパスワードを発行

ダウンロード用URLとパスワードを発行し送付します。



ステップ4：安全なダウンロード

受信者はURLからファイルを安全にダウンロードできます。ダウンロード日付も記録されるため、監査も容易です。



主な特徴

- 既存のメールシステムとシームレスに連携
- ユーザートレーニング不要で導入可能
- セキュリティとユーザビリティの両立

技術的な特長

- 暗号化によるデータ保護
- ダウンロード日付の記録と監査対応

導入時のメリット

メール添付の自動クラウド化

メールにファイルを添付して送信すると、自動的に当社クラウドストレージにアップロードされ、その共有リンクがメール本文に追加されます。従来のPPAP方式から安全な方法への転換を実現し、かつ作業時間を削減できます。

手間ゼロで脱PPAP

ユーザーはこれまで通りにファイル添付を行うだけで、自動的に当社クラウドへ保存・リンク化される仕組みのため、手動アップロードやリンク転記といった手間が完全に不要になります。

誤送信対策とガバナンス強化

送信後に誤って送ってしまった場合でも、管理画面から共有リンクを無効化できるため、受信者がファイルにアクセスする前に取り消しが可能です。また、ガバナンス強化により取引先からの信頼獲得と企業イメージ向上につながります



一般的な脱PPAPの方法との比較

PPAPの運用から脱却する方法として、多く検討されているのがオンラインストレージの活用です。以下に一般的なオンラインストレージ活用と、今回のご提案の比較を示します。

比較項目	AAMS NON-PPAP	一般的なオンラインストレージの利用
ユーザビリティ	○ ファイルを添付するだけで自動的に処理・設定や手動作業が不要・通常のメール操作と変わらない	× 以下を手動で実施する必要あり ・アクセス可能ユーザの制御 ・メール本文へのURLの記載 ・オンラインストレージ上での操作 ・必要に応じてパスワードの設定
情報漏洩対策	○ 誤って送付したファイルに対して削除が可能	○ 誤って送付したファイルに対して削除が可能
費用	低（既存のサービスのオプションとしてご提供し、ストレージも弊社でご用意）	高（別途オンラインストレージのライセンス購入等が必要）

① 当社のサービスでは、ユーザーは操作方法を新たに覚える必要がなく、従来通りのメール操作でセキュアなファイル共有が可能になります。

料金プランと導入時期

月額料金（ユーザーあたり）

コストパフォーマンスに優れた月額料金で、すべての機能をご利用いただけます。

初期費用

導入時の設定費用です。既存システムとの連携もスムーズに行います。

📄 導入時期：ご発注から2か月

詳細なご質問やカスタマイズ、費用については、弊社サポートサイトよりお気軽にお問い合わせください。

※テストドメインを利用して1か月程度の仕様期間を設ける事も可能です。